

# 株主通信

第91期(2022年3月期)中間

2021年4月1日～2021年9月30日

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第91期第2四半期（2021年4月1日から2021年9月30日まで）が終了しましたので、概況をご報告申し上げます。

当第2四半期においては、チタン需要の持ち直しや電子部品材料の需要拡大により各製品の販売が総じて堅調に推移しました。一方で、原材料価格の高止まり、エネルギーコストの上昇、輸出輸送コストの大幅上昇等が収益を圧迫する要因となっているほか、国内外の感染症の再拡大による影響など製品需要の先行き不透明感は払拭できていません。

こうした状況のもと、当第2四半期の業績につきましては、売上高は前年同期比58.4%増の262億80百万円、営業利益は143.9%増の26億22百万円となりました。また、経常損益は25億83百万円の利益（前年同期は97百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損益は18億71百万円の利益（前年同期は2億90百万円の損失）となりました。

配当につきましては、今期及び来期に予想する成長事業への先行投資資金需要を鑑み、中間配当は1株当たり6円とさせていただきます。期末配当については1株当たり6円とする予定です。

当社グループは、継続して中期経営計画（2020—2022年度）で掲げた重点課題、具体的には、成長分野への重点投資による収益基盤の強化、サウジ合弁会社（ATTM）の早期収益

化、全社的業務運営効率化と茅ヶ崎工場リニューアルプラン、新規事業の創出・推進及び新技術の活用に取り組むことで、中長期基本方針の実現に向けた成長の基盤づくりに努めております。また、環境・社会への配慮を求める機運の高まりを受けて、7月にESG推進部を新設し、ESGに対する取り組みを一層強化しております。これらの活動は持続的成長と企業価値向上に資するものであり、株主の皆様をはじめとする全てのステークホルダーと当社の信頼・共生関係を強化すべく、尽力してまいります。

皆様の変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年11月



東邦チタニウム株式会社  
代表取締役社長 山尾康二

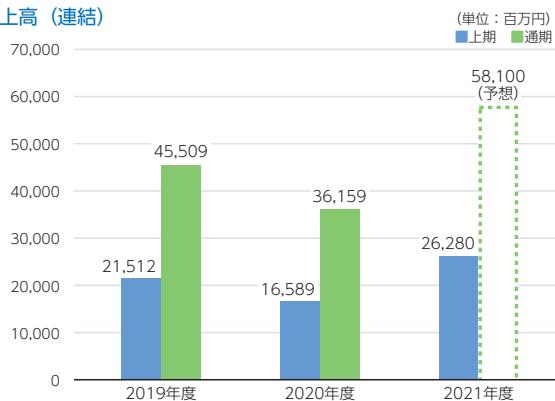
# 財務ハイライト

(単位：百万円)

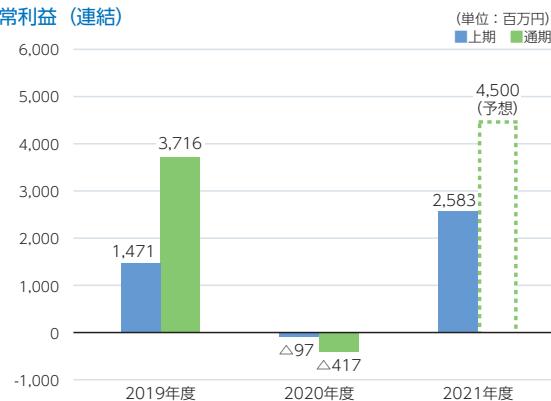
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
2021年度第2四半期実績	26,280	2,622	2,583	1,871
2021年度通期業績予想	58,100	4,700	4,500	3,200

※2021年度通期業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は、様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。

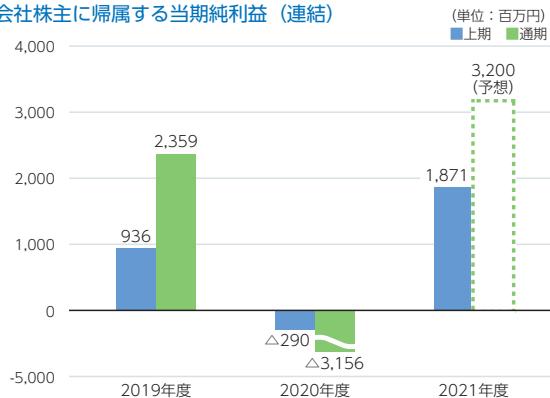
売上高 (連結)



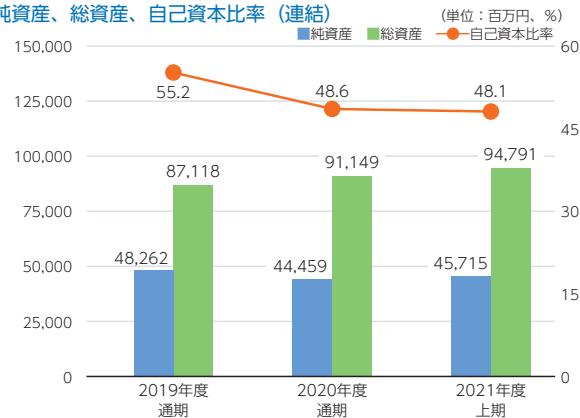
経常利益 (連結)



親会社株主に帰属する当期純利益 (連結)



純資産、総資産、自己資本比率 (連結)



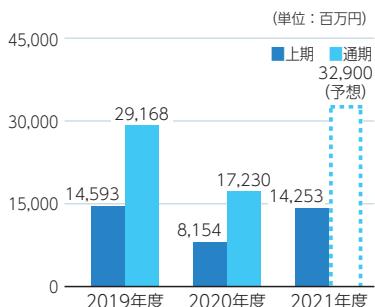
## セグメント情報

### 金属チタン事業

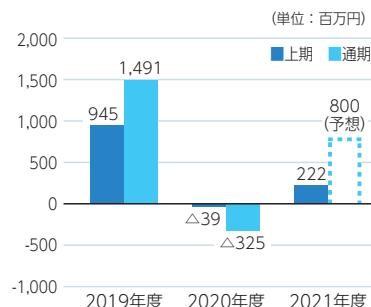
インゴット販売が低調であったものの、スポンジチタンは販売が増加し、半導体用途向け高純度チタンの需要は堅調に推移しました。

需要動向を総体的にみると、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けサプライチェーン全体で生産活動が停滞した前年度の最悪期からは脱しつつあるものと推定されます。

売上高 **142億53**百万円



営業利益 **2億22**百万円



### 触媒事業

主要製品であるプロピレン重合用触媒の顧客の市場において包装用途、医療用途向けが好調に推移したことに加え、前年度末に販売予定であった製品の一部期ズレ計上の影響もあり、前年同期を上回る水準となりました。

新工場立ち上げ等により、さらなる事業拡大を追求し、市場の伸びを上回る成長を目指します。

売上高 **39億67**百万円



営業利益 **16億65**百万円

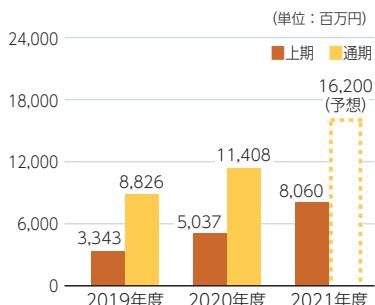


### 化学品事業

主要製品であるニッケル粉の主な用途である積層セラミックコンデンサー (MLCC) が、コロナ禍の影響による需要減退から回復したこと等により、前年同期を大きく上回る水準となりました。

なお、下期については、4月に稼働したニッケル粉新工場の製品販売が本格化しますが、当期は低稼働のため利益率は低下する見込みです。

売上高 **80億60**百万円



営業利益 **25億91**百万円



※営業利益は全社費用控除前のものです。(2021年度の全社費用は、上期1,856百万円、通期予想4,000百万円です。)

## 四半期連結財務諸表（要旨）

（単位：百万円）

### 四半期連結貸借対照表（要約）

科目	当第2四半期	前期
	2021年9月30日	2021年3月31日
<b>〈資産の部〉</b>		
流動資産	46,107	45,106
固定資産	48,684	46,042
有形固定資産	44,736	41,830
無形固定資産	1,364	1,323
投資その他の資産	2,583	2,889
<b>資産合計</b>	<b>94,791</b>	<b>91,149</b>
<b>〈負債の部〉</b>		
流動負債	27,340	26,878
固定負債	21,736	19,811
<b>負債合計</b>	<b>49,076</b>	<b>46,690</b>
<b>〈純資産の部〉</b>		
株主資本	45,900	44,619
その他の包括利益累計額	△317	△292
非支配株主持分	131	132
<b>純資産合計</b>	<b>45,715</b>	<b>44,459</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>94,791</b>	<b>91,149</b>

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

### 四半期連結損益計算書（要約）

科目	当第2四半期	前第2四半期
	2021年4月1日～ 2021年9月30日	2020年4月1日～ 2020年9月30日
売上高	26,280	16,589
売上原価	19,840	12,769
<b>売上総利益</b>	<b>6,440</b>	<b>3,819</b>
販売費及び一般管理費	3,817	2,744
<b>営業利益</b>	<b>2,622</b>	<b>1,075</b>
営業外収益	80	60
営業外費用	120	1,232
<b>経常損益</b>	<b>2,583</b>	<b>△97</b>
特別損失	38	23
<b>税金等調整前四半期純損益</b>	<b>2,544</b>	<b>△120</b>
法人税、住民税及び事業税	311	27
法人税等調整額	361	143
法人税等合計	673	171
<b>四半期純損益</b>	<b>1,871</b>	<b>△291</b>
非支配株主に帰属する四半期純損益	△0	△1
<b>親会社株主に帰属する四半期純損益</b>	<b>1,871</b>	<b>△290</b>

### 四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

科目	当第2四半期	前第2四半期
	2021年4月1日～ 2021年9月30日	2020年4月1日～ 2020年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,114	△1,155
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,349	△3,858
財務活動によるキャッシュ・フロー	804	4,454
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	566	△560
現金及び現金同等物の期首残高	2,534	2,641
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,101	2,081

## ESG経営の推進について

当社は、本年度から全社的視点でのESGに対する取り組みを強化しております。

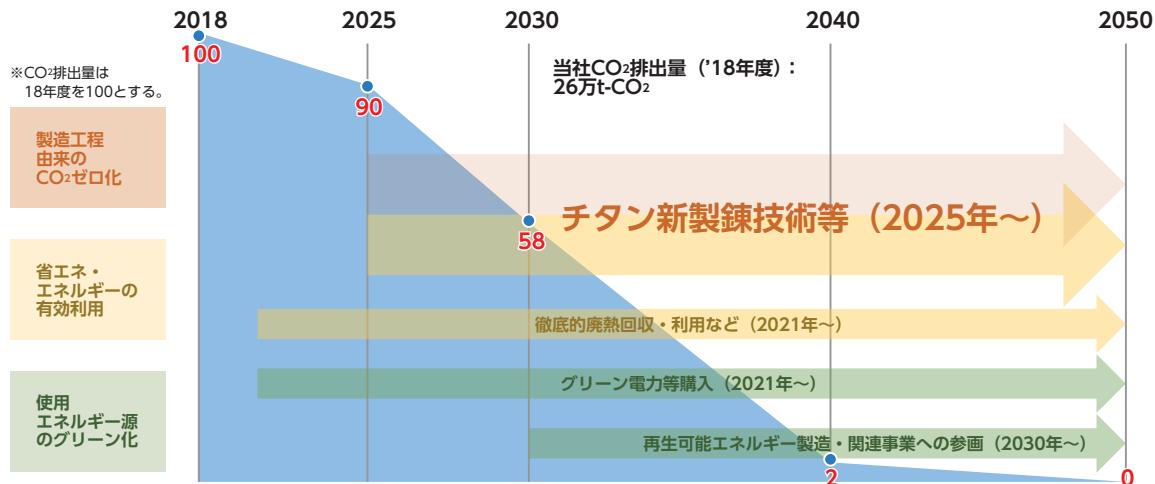
### 1. マテリアリティ（重要課題）の特定

東邦チタニウムグループは、「経営理念」に基づいて、E（環境）、S（社会）、G（ガバナンス）の視点で、事業活動を通して、自社とステークホルダーを取り巻く重要な諸課題の解決に取り組み、社会の持続的な発展に貢献し、長期的な企業価値の向上を目指します。

	マテリアリティ	当社の取り組み	関連するSDGs
E	地球環境保全への貢献	脱炭素化社会の実現	    
		環境・安全性に配慮した製品の提供	
		持続可能な資源活用	
S	社会への貢献	サプライチェーンにおける人権尊重	    
		地域社会共生	
	魅力ある職場の実現	職場の労働安全衛生環境改善	
		多様性と包摂性	
		働きやすい職場環境の整備	
人材育成			
G	経営基盤強化	コーポレートガバナンス強化	
		コンプライアンスの徹底	
		リスクマネジメント推進	

## 2. 【Eの取り組み】 2050年カーボンニュートラルに向けたロードマップと実績

当社は、チタンの新製錬技術の中核とした施策により、2030年にCO<sub>2</sub>排出量を2018年度比で約40%削減し、2050年にはカーボンニュートラルを目指します。



### チタン新製錬技術

2025年度の実用化に向けて、2021年度下期より茅ヶ崎工場のパイロットプラントで実証試験開始

### グリーン電力等購入

【茅ヶ崎工場】	化学品事業	2021年1月よりカーボンニュートラルガス（CNL）使用 2021年4月よりCO <sub>2</sub> フリー電力使用
	触媒事業	2021年1月よりカーボンニュートラルガス（CNL）使用 2021年10月よりCO <sub>2</sub> フリー電力使用
【若松工場】	化学品事業	2021年4月よりCO <sub>2</sub> フリー電力使用
【日立工場】	チタン事業	2021年10月よりCO <sub>2</sub> フリー電力使用

## ホームページ・会社紹介動画



当社ホームページでは、IR情報をはじめとする、様々な情報をタイムリーにご案内しております。

是非一度ご覧ください！

<https://www.toho-titanium.co.jp/>

会社紹介動画：  
右記QRコードより  
ご覧いただけます。



日本語版



英語版

## 会社概要 (2021年9月30日現在)

- 社名 東邦チタニウム株式会社
- 本社所在地 神奈川県横浜市西区南幸一丁目1番1号 JR横浜タワー22階
- 生産拠点 茅ヶ崎工場、若松工場、八幡工場、日立工場、黒部工場、岐阜工場 (東邦マテリアル株式会社)
- 資本金 119億63百万円
- 従業員数 (連結) 969名
- 主要な子会社 トーホーテック株式会社  
東邦マテリアル株式会社  
Toho Titanium America Co., Ltd.  
Toho Titanium Europe Co., Ltd.

## 株主メモ

- 事業年度 4月1日から3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 基準日 定時株主総会権利行使株主 3月31日  
期末配当金受領株主確定 3月31日  
中間配当金受領株主確定 9月30日
- 単元株式数 100株
- 公告の方法 電子公告
- 上場証券取引所 東証第一部
- 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
- 同連絡先 三井住友信託銀行株式会社証券代行部  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
フリーダイヤル 0120-782-031

## IRカレンダー (2022年1月～6月) (予定)

1月	2月	3月	4月	5月	6月
1月下旬 ◎2022年3月期 第3四半期 決算発表		3月末 ◎期末配当基準日		5月上旬 ◎2022年3月期 決算発表	6月上旬 ◎第91期定時株主総会 招集ご通知発送 6月下旬 ◎第91期定時株主総会 開催